

# 「釧路港の役割と魅力を学びます」

～遊覧船から釧路港を見学～

日	時	令和3年10月23日(土)10時30分～12時00分
場	所	釧路港東港区及び西港区
対	象	釧路港近郊の小学生とその保護者 22名
協	力	公益社団法人北海道海事広報協会 有限会社アイコム

北海道運輸局釧路運輸支局は釧路港近郊の小学生とその保護者を対象に、「釧路港の役割と魅力を学ぶ」ことをテーマとして、釧路港内で遊覧船を運航する有限会社アイコムの協力を得て、親子見学会を開催しました。

釧路港は酪農や畑作が盛んな東北北海道の物流拠点港であり、平成23年には国際バルク戦略港湾（穀物）に指定されました。また、沖合底びき網漁船をはじめとする水産業が盛んな港でもあります。

新型コロナウイルス感染症の感染予防として、乗船定員は例年の半分とし、乗船者のマスク着用等の十分な対策を実施したうえ、約1時間30分をかけて釧路港内の各埠頭や関連施設を見学しました。

東港区では海上保安庁の巡視船が停泊していたほか、巻き網漁船の水揚げが行われており、漁業基地としての側面を見ることができました。西港区では平成31年に完成した国際物流ターミナルに停泊する貨物船やRORO船、コンテナ船の荷役に使用するガントリークレーン、石油製品を輸送するタンカーなどを見ることができ、物流拠点としての役割を認識できるような見学会となりました。

